

令和7年度 2年次生 学びのプラン

教科名	国語	単位数 (コマ数)	3単位	履修年次	2年次		
科目名	古典探究	履修	必履修(共通)	開講	通年		
教科書	高等学校 古典探究(数研出版)	副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・四訂版 Key&Point古文単語330(いいずな書店) ・読解をたいせつにする体系古典文法 九訂版(数研出版) ・漢文学習必携 三訂増補版(啓隆社) ・三訂版 プロGRESS古文総演習 標準編(いいずな書店) ・三訂版 プロGRESS漢文総演習 標準編(いいずな書店) 				
1 学習の目標 ・我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めながら、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
2 学習の方法 ①授業について 授業は週3コマで、講義の他、ペアワーク・グループワークなどを適宜実施する。 ②クラスについて 授業はHR単位で行い、内容によっては特別教室を使用する。 ③ノートについて 各自用意すること。板書・メモを各自で記録・整理すること。配布されたプリント類を保管するためのファイルを用意しておくこと。 ④各種テストについて ・知識の定着を確認するため、「古文単語小テスト」を適宜実施する。 ・文法・句法等について知識の定着を確認するため、夏季・冬季休業明けをめどに「確認テスト」を実施する。 ⑤課題について 長文問題集等の課題を通して、知識のみならず思考・判断の力、主体的・計画的な学習への取り組みを確認する。 ⑥授業の際に必要な物 教科書・ノート・ファイルを毎時間用意する。副教材については別途指示。タブレット等を授業時に使用する。							
3 評価について ①評価の観点							
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。						
思考・判断・表現	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。						
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。						
②評価の方法							
観点	材料	定期 考査	小テスト	確認 テスト	課題等	グループ ワーク	評価方法
知識・技能		○	○	○	○		単元ごとに身に付けなければならない知識や、それを活用して答える技能を、考査等によって評価する。
思考・判断・表現		○		○	○	○	課題に対しての情報の収集と分析、導かれた結論に至る論理的思考力、発表時の表現力を評価する。
主体的に学習に取り組む態度		○	○	○	○	○	授業・各種テスト及び、課題、グループワーク、発表等における主体的・協働的取り組みを評価する。
4 その他 膨大な情報を得ることのできる現代において、従来通り一定の知識を身につけると同時に、多くの情報・知識の中から目的を達成するために必要なものを抽出して分析する「思考力」や「判断力」が大切になります。決められた正解を求めて一つの答えを出すだけではなく、問題を解決するために「知識」を「活用」して「何ができる」ようになったかを意識しながら学びましょう。							

5 単元の目標・評価					
単元名	○説話 『十訓抄』大江山				
単元の目標	地の文の展開と和歌の内容との関連を的確に読み取り、作者の意図や登場人物の機知を味わう。				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力 継続力
活動形態	講義形式、グループ学習				
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ②語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ③現代語訳の確認(個人、グループ) ④必要に応じて、授業者による説明。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 古文単語や文法についての理解を深め、表現に即して正確に現代語訳することができる。 和歌の修辞法や古文常識について理解を深めている。 	『十訓抄』の構成と標題について十分理解し、本文の収録意図を根拠立てて推測することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 辞書や文法テキストを用いながら古文単語や文法についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。 登場人物の行動や心情について、考えを深めようとしている。 		

単元名	●故事 『韓非子』買履忘度、『世説新語』華歆・王朗				
単元の目標	漢文を的確に読み取り、登場人物に対する作者の評価を踏まえて自身の考えを深める。				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力 継続力
活動形態	講義形式、グループ学習				
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ②語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ③現代語訳の確認(個人、グループ) ④必要に応じて、授業者による説明。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の重要語彙や句法についての理解を深め、円滑に訓読し、表現に即して正確に現代語訳することができる。 	登場人物の行動の理由や意図、それに対する作者の評価を読み取りながら、自身の意見を持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 辞書や副教材を用いながら漢文の重要語彙や句法、訓読についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。 登場人物の行動について、考えを深めようとしている。 		

単元名	○歌物語 『伊勢物語』初冠、芥川 『大和物語』鳥飼の院				
単元の目標	地の文の展開と和歌の内容との関連を的確に読み取り、当時の人々の価値観について理解を深める。				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力 継続力
活動形態	講義形式、グループ学習				
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ②語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ③現代語訳の確認(個人、グループ) ④必要に応じて、授業者による説明。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 古文単語や文法についての理解を深め、表現に即して正確に現代語訳することができる。 和歌の修辞法や古文常識について理解を深めている。 	「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌の類似点を指摘し、相違点とその意味や効果について説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> 辞書や文法テキストを用いながら古文単語や文法についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。 二首の歌を比較し、類似点・相違点を整理しようとしている。 		

単元名	●故事『説苑』江南橘為江北枳				
単元の目標	先人のものの見方、考え方に触れ、自身のものの見方、考え方を豊かにする。				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力
活動形態	講義形式、グループ学習				
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ②語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ③現代語訳の確認(個人、グループ) ④必要に応じて、授業者による説明。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・漢文の重要語彙や句法についての理解を深め、円滑に訓読し、表現に即して正確に現代語訳することができる。	・比喩の内容を的確に捉え、晏子の論理を説明することができる。	・辞書や副教材を用いながら漢文の重要語彙や句法、訓読についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。・晏子の論理をわかりやすく説明しようとしている。		

単元名	○随筆『枕草子』大納言殿参り給ひて				
単元の目標	日記的章段を通して登場人物の機知や心情を読み取り、当時の宮廷人の価値観について理解を深める。				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力
活動形態	講義形式、グループ学習				
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ②語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ③現代語訳の確認(個人、グループ) ④必要に応じて、授業者による説明。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・古文単語や文法についての理解を深め、表現に即して正確に現代語訳することができる。 ・時代背景や登場人物の関係性について理解を深めている。	・敬語を手がかりに動作主を判別しながら読み、大納言の機知と作者の心情について、第三者に伝わるかたちで説明できている。	・辞書や文法テキストを用いながら古文単語や文法についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。 ・大納言の機知と作者の心情について、わかりやすく説明しようとしている。		

単元名	●史伝『史記』剣舞、頭髮上指す				
単元の目標	漢文を的確に読み取り、登場人物の行動の理由や意図について自身の考えを深める。				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力
活動形態	講義形式、グループ学習				
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ②語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ③現代語訳の確認(個人、グループ) ④必要に応じて、授業者による説明。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・漢文の重要語彙や句法についての理解を深め、円滑に訓読し、表現に即して正確に現代語訳することができる。 ・司馬遷と『史記』について理解を深める。	・時代背景や経緯を踏まえて登場人物の行動の理由や意図を読み取り、それぞれの人物像の違いを分析することができる。	・辞書や副教材を用いながら漢文の重要語彙や句法、訓読についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。 ・登場人物の人物像の違いをわかりやすく説明しようとしている。		

単元名	○日記『更科日記』東路の道の果て				
単元の目標	日記文学を通して、作者の心情や価値観について理解を深める。				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力
活動形態	講義形式、グループ学習				
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ②語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ③現代語訳の確認(個人、グループ) ④必要に応じて、授業者による説明。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 古文単語や文法についての理解を深め、表現に即して正確に現代語訳することができる。 平安女流文学について理解を深めている。 	<p>本文の展開を的確に整理し、作者の心情について根拠立てて具体的に説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 辞書や文法テキストを用いながら古文単語や文法についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。 作者の心情について具体的に説明しようとしている。 		

単元名	○物語『源氏物語』光源氏誕生				
単元の目標	物語の背景や登場人物の関係を整理しつつ、我が国の古典を代表する物語を味わう。				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力
活動形態	講義形式、グループ学習				
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ②語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ③現代語訳の確認(個人、グループ) ④必要に応じて、授業者による説明。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 古文単語や文法についての理解を深め、表現に即して正確に現代語訳することができる。 古文常識や『白氏文集』の影響について理解を深めている。 	<p>本文の展開を的確に整理し、登場人物の人物像をわかりやすく説明することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 辞書や文法テキストを用いながら古文単語や文法についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。 登場人物の人物像について、わかりやすく説明しようとしている。 		

単元名	●漢詩 絶句・律詩				
単元の目標	限られた文字数で表現された内容を豊かに読み取り、韻律を味わう。				
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力
活動形態	講義形式、グループ学習				
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ②語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ③現代語訳の確認(個人、グループ) ④必要に応じて、授業者による説明。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の重要語彙や句法についての理解を深め、円滑に訓読し、表現に即して正確に現代語訳することができる。 近体詩のきまりや主な詩人について理解を深めている。 	<p>漢詩に描かれた情景・心情を読み取り、韻律を味わいながら音読することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 辞書や副教材を用いながら漢文の重要語彙や句法、訓読についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。 限られた字数での表現から、情景や心情を読みとろうとしている。 		

単元名	○歴史物語『大鏡』花山天皇の出家					
単元の目標	歴史的背景や人物の関係を踏まえて、登場人物の言動とその意図を把握し、物語としての面白さを味わう。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義形式、グループ学習					
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ③語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ④現代語訳の確認(個人、グループ) ⑤必要に応じて、授業者による説明。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 古文単語や文法についての理解を深め、表現に即して正確に現代語訳することができる。 時代背景や人物の関係性、歴史物語について理解を深めている。 		本文の展開を的確に整理し、花山天皇と道兼の人物像をわかりやすく説明できている。		<ul style="list-style-type: none"> 辞書や文法テキストを用いながら古文単語や文法についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。 花山天皇と道兼の人物像をわかりやすく説明しようとしている。 	

単元名	●思想『論語』、『孟子』、『荀子』、『老子』					
単元の目標	先人のものの見方、考え方に触れ、自身のものの見方、考え方を豊かにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義形式、グループ学習					
活動内容	①音読(ペアワーク) ②初読の読み取り確認 ③語句の意味、文法事項を調べる(適宜、課題提出) ④現代語訳の確認(個人、グループ) ⑤必要に応じて、授業者による説明。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の重要語彙や句法についての理解を深め、円滑に訓読し、表現に即して正確に現代語訳することができる。 儒家・道家の思想について相違点を意識しながら理解を深めている。 		表現の仕方に注意しながら内容を的確に読み取り、それぞれの主張をまとめることができる。		<ul style="list-style-type: none"> 辞書や副教材を用いながら漢文の重要語彙や句法、訓読についての理解を深め、正確に現代語訳しようとしている。 本文から読み取れる儒家・道家の思想の特徴をまとめようとしている。 	

6		年間計画				
学期	月	単元	項目	予定時数	考查	
前期	4	○説話 ●故事	『十訓抄』 ・大江山 『韓非子』 ・貫履忘度	・助動詞の定着 ・和歌の修辭法 ・古文常識の確認 ・漢文重要語 ・再読文字 ・不可能表現 ・疑問形	8	前期中間 考查
	5	○歌物語	『世説新語』 ・華歆・王朗 『伊勢物語』 ・初冠 ・芥川	・和歌の修辭法 ・古文常識の確認 ・漢文重要語 ・再読文字 ・仮定形 ・願望形 ・使役形	12	
	6	●故事	『説苑』 ・江南橘為江北枳	・漢文重要語 ・再読文字 ・仮定形 ・願望形 ・使役形	12	
	7	○歌物語	『大和物語』 ・鳥飼の院	・敬語 ・和歌の修辭法	10	前期期末 考查
	8	○随筆	『枕草子』 ・大納言殿参り給ひて	・呼応の副詞 ・「～かは。～やは。」 ・平安女流文学と時代背景	10	
	9	●史伝	『史記』 ・鴻門之会 ①剣舞	・中国の史書 司馬遷と『史記』 ・漢文重要語 ・可能表現 ・使役形 ・反語形 ・受身形 ・願望形 ・再読文字	12	
後期	10	○日記	②頭髪上指す 『更級日記』 ・東路の道の果て	・抑揚形 ・限定形 ・紛らわしい語の識別 ・終助詞 ・敬語 ・日記文学	10	後期中間 考查
	11	○物語	『源氏物語』 ・光源氏誕生	・敬語 ・紛らわしい語の識別 ・『白氏文集』の影響 ・古文常識の確認	10	
	12	●漢詩 ○歴史物語	・絶句・律詩 『大鏡』 ・花山天皇の出家	・近体詩のきまり ・敬語 ・歴史物語 ・時代背景	9	後期期末 考查
	1	●思想	『論語』・長沮・桀溺 『孟子』・不忍人之心 『荀子』・性悪 『老子』・小国寡民	・諸子百家 ・四書五経 ・漢文重要語 ・表現の特徴	12	
	2		『韓非子』・侵官之害	・二重否定 ・比較形		
3						